



キャベツ 10月どり作型の適品種「秋さやか」の特性

【1 成果の概要】

本県における春系キャベツの主力品種「夏さやか」は、8～9月どり作型に適する品種ですが、気温が低下する10月どり作型では収量が低下するため、安定生産が課題となっていました。このため、当作型に適する品種について検討を行いました。

- (1) 「秋さやか」((株)渡辺採種場)は、7月下旬から8月上旬の定植では、「夏さやか」よりも生育が早く、定植後65日程度で収穫開始になります。また、7月下旬定植では10月上旬、8月上旬定植では10月下旬に収穫盛期になります(表1、図1)。
- (2) 球形は10月中旬収穫では腰高～扁平、10月下旬収穫では扁平になる傾向があります。
- (3) 食味の総合評価は、「春さやか」と同等です。
- (4) べと病の発生は「夏さやか」と比較してやや多いです。



図1 秋さやか(左:収穫期の様子 右:結球部の断面)

表1 定植時期とL規格以上割合の関係 (H28)

品種	7下	8上	8中	8下	9上	9中	9下	10上	10中	10下	11上	11中	11下
秋さやか	○						43	60	100				
		○						43	63	83			
			○						7	53	63		
夏さやか	○						7	47	100				
		○						13	33	77			
			○							7	20		

※1 ○:定植 □:収穫期

※2 表中の数値は調整重1100g以上の割合(調査日までの累計)、全30株調査

【2 効果】

10月の出荷量が増加し、長期安定出荷が可能となります。

【3 留意事項】

- (1) 「秋さやか」を10月に収穫するための定植晩限は8月上旬です。8月中旬定植では収穫時期が11月以降になります(表1)。
- (2) 定植以降の気象条件の影響により、収穫時期が前後する場合があります。
- (3) べと病による減収を防ぐため、結球開始前からの防除を徹底しましょう。